

# 第76回国民体育大会 三重県準備委員会

## 第1回 式典専門委員会



**三重とこわか国体**

第76回国民体育大会 ときめいて人 かがやいて未来 2021

平成30年2月27日(火)

三重県勤労者福祉会館 5階 第2教室

# 第76回国民体育大会三重県準備委員会 第1回 式典専門委員会 目次

日時：平成30年2月27日(火) 10時00分～11時30分

会場：三重県勤労者福祉会館 5階 第2教室

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 説明・報告事項
  - (1) 国民体育大会の開催概要 . . . P 1
  - (2) 国民体育大会の式典関係概要 . . . P 3
  - (3) 第76回国民体育大会総合開・閉会式会場 . . . P 4
- 4 審議事項
  - (1) 第76回国民体育大会 式典基本方針(案) . . . P 5
- 5 そ の 他
  - (1) 第76回国民体育大会 式典基本計画の策定に向けた検討 . . . P 8
  - (2) 今後の国体開催準備スケジュール . . . P 9
  - (3) 第76回国民体育大会式典準備スケジュール . . . P 10
- 6 閉 会

## 国民体育大会の開催概要

### 1 国体のあゆみ

国民体育大会は、国内最大の国民スポーツの祭典として、昭和21年に第1回大会が開催されて以降、各県持ち回りで開催されています。

本県での開催は、昭和50年の第30回大会以来、46年ぶり2回目の開催となります。


【国体の開催目的】（公財）日本体育協会：開催基準要項より

1. 広く国民の間にスポーツを普及させること
2. スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図ること
3. 地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与すること
4. 国民生活を明るく豊かにすること

### 2 第76回国民体育大会 開催準備全体スケジュール

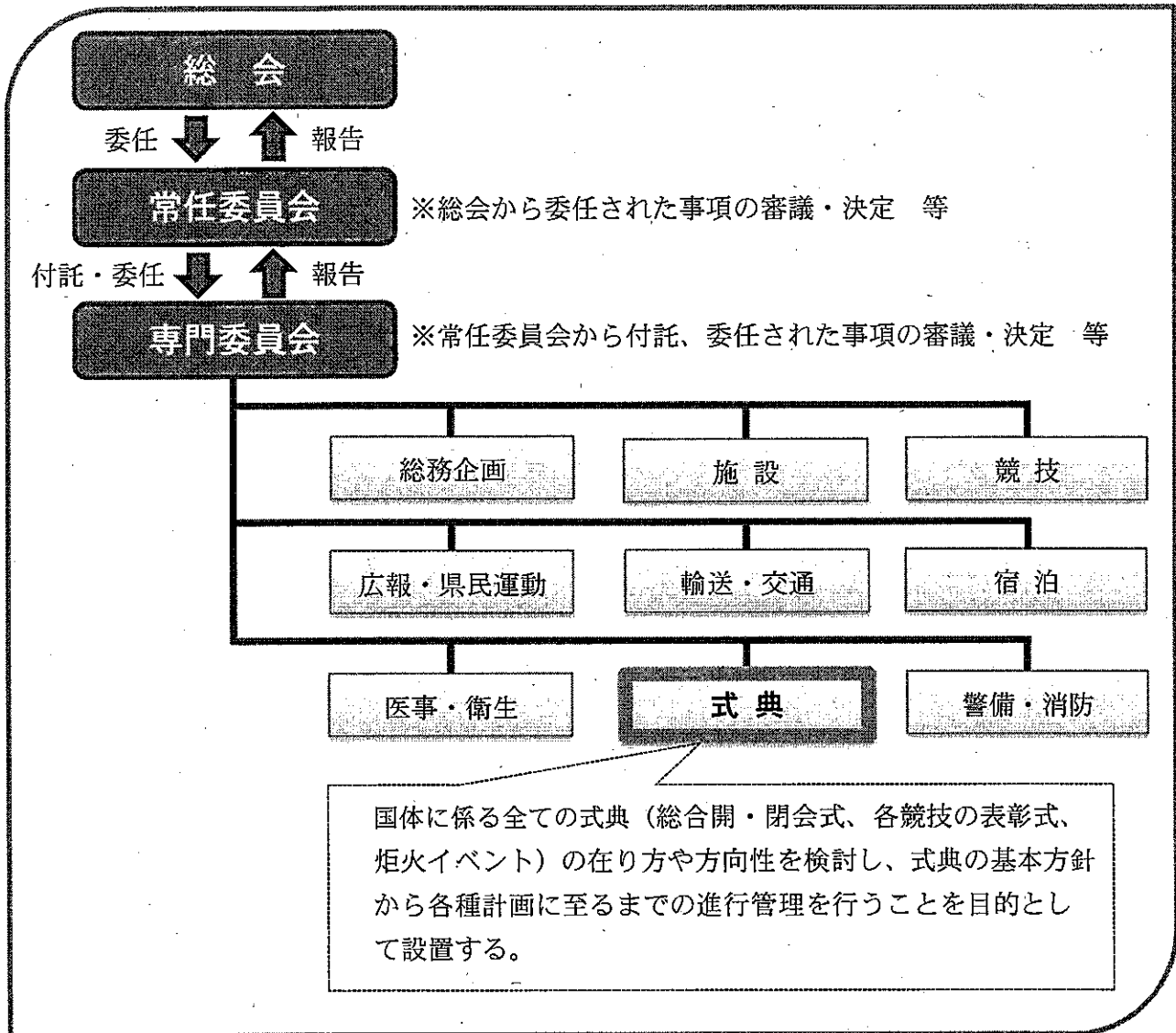
年度	開催まで	開催手続き等
H23	10年前	開催要望書の提出 → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">開催内々定</span>
H28	5年前	開催申請書の提出 → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">開催内定</span>
H30	3年前	総合視察の実施 → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">開催決定</span>
H32	1年前	リハーサル大会の実施
H33	開催年	第76回国民体育大会、第21回全国障害者スポーツ大会の開催

### 3 第76回国民体育大会の概要

主 催	(公財)日本体育協会、文部科学省、三重県			
開催期間	9月下旬からの11日間(平成30年7月に正式決定)			
実施競技	正式競技	特別競技	公開競技	デモンストラーションスポーツ
	37競技	1競技	5競技	調整中
参加人数	選手、大会関係者(221,947人) 観覧者(461,075人) ※参加人数は岩手国体実績(延べ人数) ボランティア(1,536人)			
愛 称	三重とこわか国体			
	常若(とこわか)とは「いつも若々しいこと。いつまでも若いさま」を表現した言葉で、県民や来訪者が活力に満ち、元気になるようにとの願いを込めています。			
スローガン	ときめいて人 かがやいて未来			
	第76回国民体育大会(三重とこわか国体)がきっかけとなって全ての人が夢や感動、喜びを味わい、大会後も元気であり続けていくような未来を願っています。			
マスコット	 愛称「とこまる」 「県のさかな」の伊勢エビをモチーフにした活動的で元気な男の子のキャラクター			

#### 4 第76回国民体育大会三重県準備委員会の設立

三重とこわか国体の成功に向けて万全を期すため、県内各界の代表者で構成する「第76回国民体育大会三重県準備委員会」を設立し、競技運営等について審議いただいています。



#### 5 第21回全国障害者スポーツ大会（三重とこわか大会）の実施

平成13年第56回宮城国体から、「全国身体障害者スポーツ大会」と「全国知的障害者スポーツ大会」が統合され、「第1回全国障害者スポーツ大会」として開催されました。

全国障害者スポーツ大会は、国体終了後、原則として3日間で開催されます。

##### 【実施競技】

##### ○個人競技（7競技）

陸上競技（身、知）、水泳（身、知）、アーチェリー（身）、卓球（身、知、精）  
 フライングデスク（身、知）、ボウリング（知）、ボッチャ（身）

##### ○団体競技（7競技）

バスケットボール（知）、車椅子バスケットボール（身）、ソフトボール（知）  
 グランドソフトボール（身）、バレーボール（身、知、精）  
 サッカー（知）、フットベースボール（知）

## 国民体育大会の式典関係概要

### 総合開・閉会式

①オープニング（開催基準要項：記載なし）

伝統芸能を取り入れた県民パフォーマンスや国体ダンスによる式典の幕開け

②式典前演技（開催基準要項：集団演技を実施することができる）

天皇皇后両陛下御臨席の下、開催県の魅力を表現する集団演技  
式典前演技は開会式のみ実施。

③式典（開催基準要項：60分以内。できるだけ簡素なものとして下記項目を必ず取り入れる）

下記項目に加え、役員・選手団の入場行進等が行われる。

開会式	閉会式
開会宣言 国旗掲揚 大会旗・日体協旗・実施競技団体旗掲揚 開催県旗・参加都道府県旗・会場地旗掲揚 天皇杯・皇后杯返還 大会会長あいさつ 文部科学大臣あいさつ 天皇陛下お言葉 炬火点火 選手代表宣誓	成績発表 表彰状授与 天皇杯・皇后杯授与 大会会長、スポーツ庁長官あいさつ 開催県旗・参加都道府県旗・会場地旗降納 大会旗・日体協旗・実施競技団体旗降納 国旗降納 炬火納火 国体旗引継 次期開催県旗掲揚 閉会宣言

④エンディング（開催基準要項：記載なし）

国体ムードを盛り上げるプログラム

### 競技会表彰式

（開催基準要項：できるだけ簡素なものとして概ね次のとおり実施）

各競技会の表彰式は会場地市町が地域の特色を生かしながら実施。

成績発表  
 表彰状授与  
 大会会長トロフィー授与  
 競技会会長閉会のあいさつ  
 会場地代表歓迎のことば  
 国旗降納、大会旗、実施競技団体旗、会場地市町村旗降納

### 大会旗・炬火イベント

（開催基準要項：開催県内に限り実施することができる）

開催県内に限り実施することができる。

イベントの方法については開催県実行委員会が企画し、実施する。

## 第76回国民体育大会 総合開・閉会式会場

### 【施設の概要】

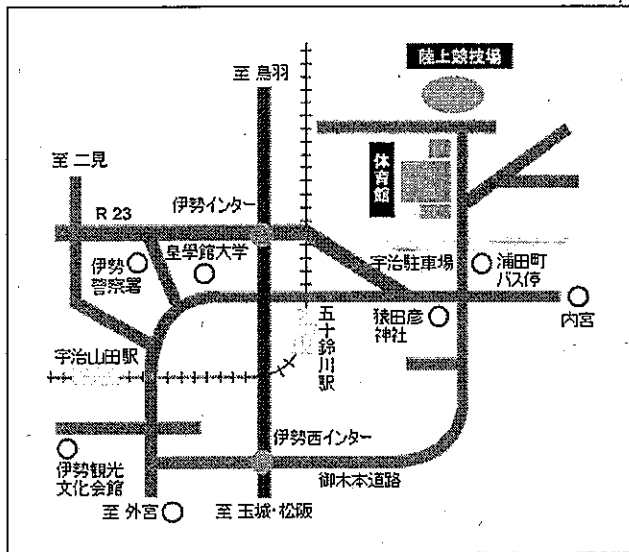
〔名称〕 三重交通G スポーツの杜 伊勢 陸上競技場

〔住所〕 伊勢市宇治館町 510

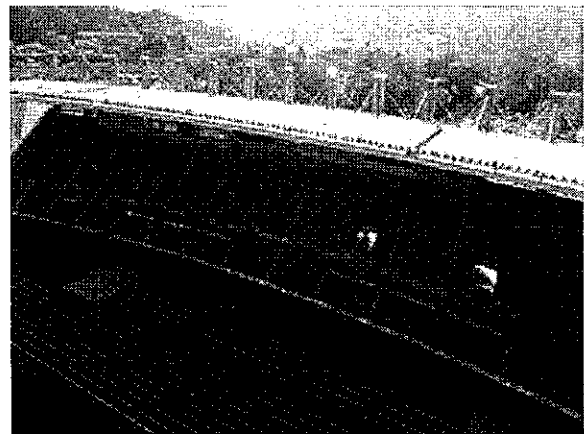
〔建設〕 昭和43年(1968年) 平成27年より改修

〔施設〕 400m 9レーン全天候舗装

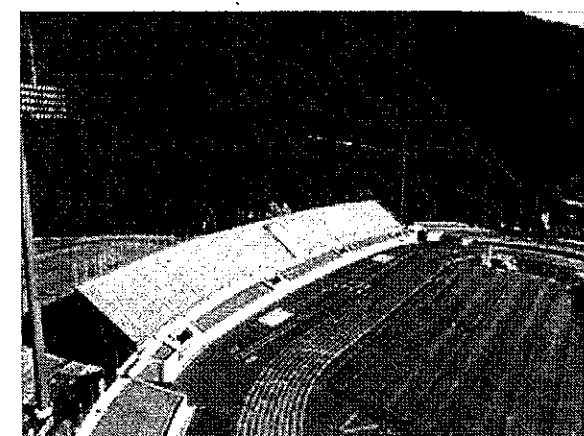
観客椅子席 12,574席 芝生席 6,493席 計 19,067席



スタンド全体



メインスタンド



バックスタンド

### 【アクセス】

#### (三交バス)

伊勢道路経由線

浦田駅下車 徒歩 6分

内宮外宮循環線

猿田彦神社前下車 徒歩 10分

#### (近鉄電車)

五十鈴川駅下車 徒歩 20分

#### (高速道路)

伊勢自動車道

伊勢西インター下車 (内宮方面) 10分

## 第 76 回国民体育大会式典基本方針（案）

第 76 回国民体育大会（以下、大会）の式典は、「国民体育大会開催基準要項」、「第 76 回国民体育大会開催基本方針」、「第 76 回国民体育大会開催基本構想」を踏まえ、スポーツの祭典としてふさわしい式典とする。

### 1 基本理念

- (1) 多くの県民がさまざまな形で式典に参加できる仕組みを作り、全国から集う選手・観客をもてなすことで、温かい心のつながりを感じられる式典とする。
- (2) 「三重県の魅力」を共感または再認識できるような機会づくりに努め、コンセプトを明確にすることで参加者の心に残る式典とする。
- (3) 選手の負担軽減に考慮し、創意工夫を凝らしたすべての人、環境にやさしいスマートな式典とする。

### 2 式典の構成

式典は、大会の総合開・閉会式、各競技会の表彰式、大会旗・炬火イベントで構成する。

#### (1) 総合開・閉会式

総合開・閉会式は、「国民体育大会開催基準要項第 20 項」の規定による式典、役員・選手団入退場及び集団演技で構成する。

#### (2) 表彰式

各競技会の表彰式は、「国民体育大会開催基準要項細則第 8 項」の規定により構成する。

#### (3) 大会旗・炬火イベント

大会旗・炬火イベントは、開催に向けた機運を高める行事及び総合開・閉会式で構成する。

### 3 式典の企画・運営

#### (1) 総合開・閉会式

総合開・閉会式は、第 76 回国民体育大会三重県準備委員会が企画・運営にあたる。

#### (2) 表彰式

第 76 回国民体育大会における各競技会の表彰式は、第 76 回国民体育大会三重県準備委員会が定める要領に基づき、会場地市町準備委員会が関係競技団体と協議の上、企画・運営にあたる。

#### (3) 大会旗・炬火イベント

大会旗・炬火イベントは、別に定める要項に基づくものとする。

## 第76回国民体育大会式典基本方針（案）関連諸規定

### （公財）日本体育協会「国民体育大会開催基準要項」 関連部分抜粋

#### 19 大会の式典

- (1) 大会の式典を行う場合は、冬季大会を含め回数を同じくする大会の総合開会式及び総合閉会式として、開催県が選定した競技会場地で行う。ただし、本大会を複数の都道府県において開催する場合は、別に協議する。
- (2) 式典の所要時間は、原則として60分以内とする。
- (3) 式典は、できるだけ簡素なものとして、次の項目を必ず式典中に取り入れるものとする。ただし、その他の項目については、開催県実行委員会において企画の上、日体協と協議して定める。

#### 「総合開会式」

開会宣言、国旗掲揚大会旗・日体協旗・実施競技団体旗掲揚、開催県旗・参加都道府県旗・会場地旗掲揚、天皇杯・皇后杯返還、大会会長あいさつ、文部科学大臣あいさつ、天皇陛下お言葉、炬火点火、選手代表宣誓

#### 「総合閉会式」

成績発表表彰状授与、天皇杯・皇后杯授与、大会会長あいさつ、開催県旗・参加都道府県旗・会場地旗降納、大会旗・日体協旗・実施競技団体旗降納、国旗降納、炬火納火、国体旗引継、次期開催県旗掲揚、閉会宣言

- (4) 総合開・閉会式時に集団演技を実施することができる。
- (5) 競技会終了後の表彰式は細則第7項により実施することができる。

#### （国民体育大会開催基準要項細則）関連部分抜粋

#### 7 本則第19項第5号（各競技会表彰式の要領）

各競技の表彰式は、できるだけ簡素なものとし、概ね次のとおりとする。

#### 「表彰式」

成績発表、表彰状授与、大会会長トロフィー授与、競技会会長閉会のあいさつ、会場地代表歓送のことば、国旗降納、大会旗、実施競技団体旗、会場地市町村旗降納

#### 21 大会旗及び炬火リレー

- (1) 大会旗及び炬火リレーは、開催県内に限り実施することができる。
- (2) リレーの方法については、開催県実行委員会が企画し、実施する。



## 第 76 回国民体育大会 開催基本方針

### 1 基本方針

第 76 回国民体育大会は、人々が夢と感動を覚え、県民の皆さんが郷土の一体感を感じ、あわせて豊かな交流の輪が生まれ、広がっていく大会をめざします。

大会の開催にあたっては、県民総参加の大会として、県民の皆さんが自ら取り組み、みんなで支えあう大会とします。また、「国体改革」の取組をさらに進め、一層の改善・改革に努めるとともに、創意工夫により来訪者を温かく迎える大会となるよう心がけます。

この大会の開催を契機に、人々が健康と生きがいを感じ、人と人、地域と地域の絆づくりが進み、活力に満ちた元気な三重を創ります。

### 2 実施目標

#### (1) 県民総参加

県民の皆さんが、競技会等を「する」「みる」「支える」といったさまざまな関わりを持つことで、県民総参加の大会をめざします。

また、市町、県体育協会・競技団体や関係機関等、各主体との緊密な連携を図りながら、県民の皆さんとともに国体の新しい運営のあり方やしくみづくりに取り組みます。

#### (2) 簡素・効率化

県・市町施設をはじめ、県内の既存施設の有効活用を図るとともに、大会運営においても民間活力の導入など、大会の簡素・効率化に努めます。

#### (3) 情報発信と交流の輪づくり

三重の美しい自然と豊かな伝統や文化を全国に発信し、三重の魅力をアピールするとともに、県民の皆さんが、三重を訪れる人々をおもてなしの心で温かく迎え、交流の輪を広げていきます。

#### (4) 本県のスポーツの推進

国体の開催を契機に、地域スポーツが普及し、県民の皆さんが健康で生きがいのある生活を送っています。また、本県代表の選手が国内外で活躍し、県民に夢と感動を届けるとともに、将来にわたってトップアスリートを輩出しています。

## 第76回国民体育大会式典基本計画策定に向けた検討について

第76回国民体育大会式典基本方針を基に、総合開・閉会式におけるテーマ、式典演技や音楽、炬火イベントなどの基本的な考え方や構成等を記した「式典基本計画」を策定します。

### 1 策定内容(案)

- 式典のテーマ、基本的な考え方、展開方法
- 式典音楽の方向性、使用曲の構想・構成
- 式典演技の方向性、構成
- オープニング、エンディングの方向性
- 炬火イベントの方向性
- 各競技会における表彰式の取扱い

### 2 式典基本計画策定スケジュール(予定)

	業務内容
5月	受託者選定プロポーザル実施に向けた仕様書等の作成 各委員意見事務局集約⇒正副委員長協議
6月	プロポーザルの実施
7～8月	式典基本計画(素案)の検討・作成
9月	第2回式典専門委員会開催(素案の審議)
10～12月	最終案の作成
1月	第3回式典専門委員会開催(最終案の審議等)
2～3月	式典基本計画の完成

### 3 式典基本計画に盛り込む要素・観点など

#### 【どのような式典にするのか】

コンセプト、メッセージ、愛称・スローガン、スポーツの祭典、アスリートファースト、災害復興、スポーツイヤーの集大成、46年ぶり、華美すぎる式典の抑制、手作り、県民参加、レガシー

#### 【三重県らしさとは】

- ・歴史、文化、自然(伊勢神宮、熊野古道、忍者、F1、松阪牛)
- ・偉人(松尾芭蕉、三井高利、御木本幸吉、沢村栄治)
- ・女性の活躍(吉田沙保里、土性沙羅、野口みずき、海女、斎王)
- ・多様性(各地域毎の特色)
- ・伊勢志摩サミット、お伊勢さん菓子博
- ・東京オリパラの翌年開催
- ・三重県で初めて○○、国体初の○○

式典基本計画へ反映

### 今後の国体開催準備スケジュール

平成 29 年度から 30 年度にかけての国体開催準備（式典専門委員会関係分）については、下記のとおりです。

年度	年月	内 容	
H29	2月	○第1回式典専門委員会（2/27）	
	3月	○第11回準備委員会常任委員会（3/19） 式典基本方針の審議・決定	
H30	5月	□日体協、文科省による総合視察	
	7月	<input type="checkbox"/> 国体正式決定、会期決定 <input type="checkbox"/> 第12回準備委員会常任委員会 <input type="checkbox"/> 第7回準備委員会総会 <input type="checkbox"/> 開催決定により準備委員会から実行委員会への改組 <input type="checkbox"/> 第1回実行委員会総会	東海総体（インターM） （7/26～8/20） ※総合開会式は 8/1
	9月	<input type="checkbox"/> 第2回式典専門委員会 審議事項：式典基本計画（素案）他 ※総合開・閉会式会場にて開催予定	福井しあわせ元気国体 （9/29～10/9）
	10月		福井しあわせ元気大会 （10/13～10/15）
	1月	<input type="checkbox"/> 第3回式典専門委員会 審議事項：式典基本計画（最終案）他	
	3月	○第1回実行委員会常任委員会	

凡例 ○：会議等の開催

□：開催準備活動

注：開催時期や内容は、いずれも予定であり、準備の進捗により変動することがあります。

第76回国民体育大会式典準備スケジュール(案)(○審議事項 ●報告事項) ●報告事項(3)

		平成29年度 (開催4年前)	平成30年度 (開催3年前)	平成31年度 (開催2年前)	平成32年度 (開催1年前)	平成33年度 (開催年)
全体計画	式典基本方針	式典基本計画	式典実施計画	式典実施要項	式典運営業務	
式典運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>○式典の基本理念</li> <li>○式典の構成</li> <li>○式典の企画・運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○式典のテーマ</li> <li>○開・閉会式の基本的な考え方</li> <li>○開・閉会式の次第検討</li> <li>○開・閉会式イベントの基本的な考え方</li> <li>○競技会表彰式基準要項</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○役員・選手団入退場計画</li> <li>○選手団参集範囲の決定</li> <li>○出演者選定計画</li> <li>○式典アナ・司会者選考</li> <li>●実施本部体制の構築</li> <li>●式次第の決定(日体協議)</li> <li>●全体タイムスケジュールの決定</li> <li>●荒天時計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○出演団体の募集</li> <li>○宣誓者(選手代表)の選定</li> <li>●練習計画策定</li> <li>●選手団参集者の調整</li> <li>●出演者選定依頼</li> <li>●出演者服飾整備</li> <li>●式典アナ・司会者依頼</li> <li>●音響機器整備計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●総合練習会実施</li> <li>●選手団参集者決定</li> <li>●宣誓者依頼</li> <li>●出演者委嘱状</li> <li>●式典アナ・司会者原稿作成</li> <li>●音響機器整備</li> <li>●宮内庁視察対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各種練習会・総合リハーサル実施</li> <li>●三重とじわか国体・大会開催</li> </ul>
式典音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な考え方</li> <li>○使用曲の構成</li> <li>○作曲・編曲の構想</li> <li>○音楽隊編成の構想</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○試奏会の要項</li> <li>○出演者選定計画検討</li> <li>○使用楽曲決定</li> <li>○楽器整備計画</li> <li>●使用曲CD及び楽譜の制作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○出演者の決定</li> <li>●使用楽曲著作権対応</li> <li>●合同練習会計画</li> <li>●楽器保有状況調査</li> <li>●楽器レンタル・保険検討</li> <li>●服飾デザイン決定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●合同練習</li> <li>●練習会場調整</li> <li>●楽器メンテナンス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●総合練習</li> </ul>	
式典演技	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な考え方</li> <li>○式典演技のコンセプト検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○出演団体の方向性</li> <li>○演技展開内容</li> <li>○伴奏曲の作編曲者選定</li> <li>○振付者の選定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○演技マニユアル策定</li> <li>●出演団体決定</li> <li>●演技内容調整(日体協議)</li> <li>●振付決定</li> <li>●服飾デザイン決定</li> <li>●練習会実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●炬火台整備</li> <li>●炬火イベント実施</li> </ul>		
炬火イベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>○方向性の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本方針</li> <li>●市町への意向調査</li> <li>●炬火用具のデザイン検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○服飾整備計画</li> <li>○炬火走者選定</li> <li>○炬火入場演出検討</li> <li>○炬火台の設置・整備方法検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○炬火用具デザイン募集・決定</li> <li>○炬火走者依頼</li> <li>●服飾デザイン決定</li> <li>●炬火演出決定</li> <li>●炬火台のデザイン決定</li> </ul>		

委員会開催数	1回	2回程度	3回程度	3回程度	1回程度
--------	----	------	------	------	------

## 第76回国民体育大会三重県準備委員会 式典専門委員会 委員名簿

(敬称略、順不同)

No.		区分	所属機関・団体・役職名	氏名
1	委員長	伝統芸能	芸能史研究家	前田 憲司
2	副委員長	県体協	三重県体育協会 理事長	東地 隆司
3	委員	文化・芸術	三重県文化会館 館長	梶 吉宏
4	委員	報道	日本放送協会津放送局 放送部長	前澤 謙行
5	委員	福祉・ボランティア	三重県社会福祉協議会 事務局長	松本 利治
6	委員	学校	三重県小中学校長会 会長	川合 陽一郎
7	委員	学校	三重県高等学校長協会 会長	和田 欣子
8	委員	学校	三重県私学協会 会長	梅村 光久
9	委員	音楽	三重県吹奏楽連盟 理事長	山際 陽彦
10	委員	音楽	三重県合唱連盟 理事長	坂本 研太
11	委員	音楽	作曲家	錦 かよ子
12	委員	演技	三重県立いなべ総合学園高等学校 教諭	寺崎 雪子
13	委員	会場地市	伊勢市産業観光部国体推進課 課長	松葉 清高
14	委員	県教委	三重県教育委員会事務局教育総務課 課長	長崎 敬之

